

## 20 周防大島の文化財

### 久賀の諸職用具

近世末期から、石工、鍛冶屋、船大工、桶屋、醤油屋等の生産が盛んであった久賀において民具も自家製品や村の木工、鍛冶屋の手で作られたものが多く残っていました。そこで、昭和47年ごろ旧東和町出身の故宮本常一先生の指導のもとに民具の収集が始まりました。

民俗資料保存会（会長 故浜野武一氏）を中心とした収集活動は3年間にわたり収集した民具は1万5000点に達しました。こうして集められた民具は久賀の西中津原にあった旧農協醤油工場建物をそのまま民俗資料館に転用して展示することとし、昭和49年4月に初代館長として故松田國雄氏を迎えて昭和51年6月に開館しました。

諸職用具については、はじめは県の民族文化資料に指定され、さらに昭和53年8月には、9職種2,707点が国の重要有形民俗文化財に指定されました。

これらの民具は、平成6年3月に八幡生涯学習のむらの開館にあたり、西中津原から移転し、生活に密着した民具は民俗資料館に、国指定の諸職用具は収蔵庫にそれぞれ収蔵展示されました。

いろいろな用具に祖先の苦労や生活の知恵が伺えます。

《周防大島町文化財保護審議会委員 金本 豊》



## 平成29年度 地域づくり活動支援事業の補助金交付団体が決定しました

スタートアップ支援事業（新規の活動や小規模な活動の立ち上げ・実施）

団体名	事業名（事業概要）
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会周防大島支部	エコツーリズムの推進・白木半島エリアの自然環境の保全
油宇を美しくする会	油宇地区みんなで参画できる憩いの場作り（ホットスペース）

ステップアップ支援事業（活動の定着・自立化を図る）

団体名	事業名（事業概要）
周防大島を有機の島にする会	周防大島の子どもたちへの安心安全な「食」の提供 等
NPO法人 ふるさと里山救援隊	久賀地区棚田再生事業～周防大島全域への展開を視野に地域創生のトップステージへ～
NPO法人 島スクエアプラス	持続できる小規模菜園農産物流通システムの構築～付加価値づくりと交流環境づくり～
安下庄海の駅を目指す会	世界へ発信する海の駅 - 次世代に繋ぐ -

町内の団体から公募していた、平成29年度周防大島町地域づくり活動支援事業について、審査会の結果が町長へ報告され、次の6団体の事業が採択されました。

地域づくり活動支援事業は、新たな個性や特性を育むネットワークやシステムを形成する事業や、地域の人材育成、住民参画の機運を育むイベントやワークショップ等の開催などの事業に対して補助するもので、スタートアップ支援事業で20万円を上限に、ステップアップ支援事業で50万円を上限に交付されます。

◆問い合わせ 政策企画課 ☎0820(74)1007